



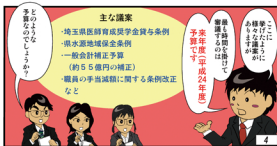
井上わたるの

県政報告

配るホームページ第36号

あなたは 57万5751 番目の読者です。

前号までにお届けした枚数です。



埼玉県平成24年度当初予算案の予算規模は
一般会計 1兆 6,777億 2,200万円

この他、「特別会計」や県立病院運営や上・下水道事業等の「企業会計」を加えた全会計の合計は **2兆 3,974億 8,702万円**です。

そして、下のグラフは《一般会計の歳出の内訳》を示しています。

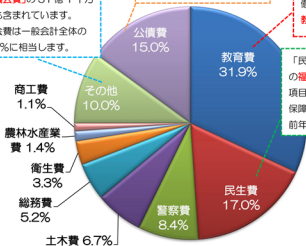


例えば「その他」の中には「議会費」の31億1千万円も含まれています。議会費は一般会計全体の0.2%に相当します。

「公債費」とは、**県債（借金）の返済費用**のことです。

「教育費」は、金額にすると5,353億円です。そして、その**約85%が教職員の給与費**に充てられています。

「民生費」は高齢者・児童・障がい者などの**福祉のための費用**です。土木費など他の項目が軒並み減っている中、高齢化や社会保障費の増大によって民生費については、前年度比3.8%の増額となっています。



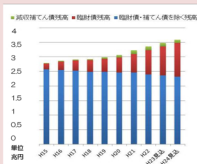
＝平成24年度当初予算案における主要政策（一部）＝

- さいたま新都心への医療拠点整備（※さいたま赤十字病院と小児医療センターの移転準備）（22億3,500万円）
- 小児救急電話相談＜＃8000＞の時間拡大（4,700万円）
- 保育所待機児童対策の推進（48億4,450万円）
- 災害対策用備蓄物資の充実（9,605万円）
- 緊急輸送道路の沿道建物耐震化・下水道マンホールの浮き上がり防止策（1億5,000万円）等

埼玉の県債残高(与借金)はどうなってるの？

右のグラフが平成15年からの県債残高です。総額では来年度末の時点で約3兆6,000億円に上ります。但し、県債の内訳を見ると、**青色の部分**が毎年減ってきています。この青色部分こそ、県が独自に発行する県債であり、行政改革などによってセーブすることができます。

一方、増えているのは**赤色の部分**です。これは、「臨時財政対策債」と言います。（臨時財政対策債は、借金ではあるもののその返済費用の一部を「地方交付税」で精えます。言い換えると国からの「仕送り＝地方交付税」が「奨学金＝臨時財政対策債」に変わったというイメージに近いと思います。）いずれにしても県債に頼り過ぎない財政運営へシフトできるように、提言を続けてまいります！



～改善又は検討を要する事項～

- 自動車税などで実施しているコンビニ収納については、**納税率向上**の効果が高いため、市町村における税のコンビニ収納の普及促進を支援すること。
- 太陽光発電**の普及拡大に向けて一層の推進を図ること。また、太陽光発電設備の設置に伴う設置者と事業者とのトラブルについて、未然に防止する取組や相談体制の強化に努めること。
- 医師確保対策**の推進を図るため、次の事項に取り組むこと。
 - (1) 臨床研修医及び後期研修医に対する研修資金の貸与について、希望者が更に増えるよう、研修医のニーズをよりの確に捉え、研修医の更なる県内への誘導・定着を図ること。
 - (2) 医師確保対策について、長期的な視点で費用対効果を検証し、現状の取組に限らず多様な対策を講じること。
 - (3) 医師確保対策の推進に関わる県職員の人員体制を、更に充実させること。
- 教育局と連携し、学校における**米飯給食**の更なる推進に取り組むこと。
- 水辺再生100プラン**により整備した箇所について今後も適切な管理を行うとともに、更に地域で活用されるよう支援すること。また、様々な視点から評価項目を設けて事業効果の検証を行い、その結果を今後の川の再生の推進に生かすこと。
- 受水団体(市町村)の事業運営状況の把握に努めるとともに、**県営水道の事業運営**においては、水道料金など受水団体に与える影響を十分考慮すること。

皆様の声を聞かせてください。

右図は切り取るとハガキになります。切手も不要です。県政に関することはもちろん、市政に関することもお気軽にご相談ください。

県議会では、10月19日～12月19日の間に「**決算特別委員会**」を開催し、前年度(平成22年度)の一般会計及び特別会計、公営企業会計の決算について審査しました。

私もその委員の一人として参加し、審議の結果、前年度の各会計決算は「**認定**」となりました。また、決算委員会では、チェックだけでなく提言も行います。それが『**改善又は検討を要する事項**』です。

委員会全体では、66項目の提言がなされ、そのうち私の提言した6項目の「**意見・提言**」が盛り込まれることになりました。

(左記がその6項目です)

これらの提言は、例えば、医師確保について2月定例会で新たな奨学金貸与条例が提案されたように、行政の施策推進に繋がっています。



発行有効期限
平成25年7月
19日まで

キリトリ

郵便はがき

3 5 1 - 0 1 9 0

(受取人)

和光市丸山台 1-10-18
アントワープ平岡 503 号室

埼玉県議会議員
井上わたる 事務所 行



キリトリ

あなたのご意見・要望・疑問などお気軽にお寄せください。

お名前(フリガナ)	生年月日	おところ	和光市
	年 月 日		
電話	E-Mail		

※匿名でも可。可能な範囲でご記入ください。

平成 24 年度当初予算案と合わせて、来年度から実施する **組織改正案** も公表されました。この中で、2項目について井上の提言が実際の組織改正に反映されました。

一つは、前ページでご紹介した「決算特別委員会 改善 又は 検討を要する事項」の中で提言した【**医師確保の推進に関わる人員体制の充実**】です。

○救急医療体制の強化や医師・看護師の確保・育成策の推進のため

○医療ニーズの現状分析・将来推計 及び 医学部設置の可能性の検討のため 等として、職員の増員が決まりました。

もう一つは 12 月定例会の一般質問で行った【**知事の3大公約のひとつ、「ウーマノミクス」の推進のために専門の職員・部門を設置すべき**】という提言です。ウーマノミクス課の新設については、新聞など各報道でも、次のように取り上げられています。



12月議会的一般質問の様子

この他、「エコタウン課」「健康長寿課」が新設予定です。ただ、組織改正が目的ではなく、政策を進めるための手段ですから、今後もこれから政策の実現に向け、私達議会も力を注ぎます！

女性の雇用、子育て支援
埼玉県がウーマノミクス課 新設へ

埼玉県は新年度、女性の雇用と子育てを支援するプロジェクト「ウーマノミクス」を推進する。上田知事は8日、報道陣に「埼玉で女性が生き生きと働ける社会を築きたい」と述べ、県庁内に「ウーマノミクス課」を新設する考えを示した。

ウーマノミクスは3選を目指した上田知事が昨夏の知事選で掲げた公約の一つ。将来の人口減を見据え、女性の活力を見いだして、経済成長を目指すというものだ。

2012年2月10日
読売新聞より抜粋

© Copyright © 2012 INOUE WATARU

また、県庁は着実な定数削減と効率的な組織整備を行い、知事部局（※警察官や教員、病院職員等除く）の職員定数を85人削減し、6,750人にするとしています。議会としても「最小・最強」の県庁づくりに取り組んでまいります！



県は2012年度から実施する組織改正案を固めた。(略) 新たに6課を創設する方針。課所数は現行の98課1211所から101課119所になる見通し。(略) 産業労働部に女性の社会進出を後押しする「ウーマノミクス課」(定数15人)を新設。(以下略)

2012年2月4日
埼玉新聞より抜粋

ホームページもご覧ください！

井上わたる 検索

<http://inouewataru.com/>



◎ 埼玉と和光の政治をわかりやすく伝えます！

「井上わたるの和光ブログ」

情からはコチラ ↓

<http://inouewataru.blog.shinobi.jp>



◎ リアルタイムで議員活動を伝えます！意見交換の場にも！

twitter や facebook も活用中です！
(ツイッター) (フェイスブック)

◆井上 航 (わたる) の経歴◆

昭和54年生まれ 32歳

平成14年 立命館大学 法学部 環境生活法コース 卒業

平成14年 株式会社バノナ 入社

以後、平成18年まで人材支援会社に勤務

平成19年～平成23年 和光市議会議員

平成23年～ 埼玉県議会議員

○福祉保健医療 常任委員会 ○決算特別委員会

○自然再生・循環社会対策 特別委員会

【趣味】演劇、落語 【特技】卓球 (市内卓球サークル所属)

発行：埼玉県議会議員 井上わたる
連絡先：井上わたる事務所 (刷新の会 和光支部)
〒351-0112
埼玉県和光市丸山台 1-10-18 アントワープ平岡
503号室 (ドラッグストア「内観堂」の5階)
TEL 048-424-3684
FAX 048-424-3854
E-mail inoue_airline@yahoo.co.jp